

第 16 回宗教文化士認定試験受験要綱

【認定試験】

- (1) 第 16 回認定試験は、2019 年 6 月 16 日(日)13:30~15:45 に行われます。
- (2) 試験会場は、東京都渋谷区(國學院大學)の他、札幌市(北海道大学)、仙台市(東北大学)、西宮市(関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス)、京都市(龍谷大学)、天理市(天理大学)、伊勢市(皇學館大学)、福岡市(九州大学)の 8ヶ所です。どこで受験するかを自分で選ぶことができます(会場案内は受験票とともに郵送します)。
※関西学院大学における試験会場は大阪梅田キャンパスから西宮上ヶ原キャンパスに変更となりました。
- (3) 筆記試験について
 - ① 記号選択式問題が 50 問あります(60 分)。一定の正答数に達することが求められます。
 - ② 論述式問題が 1 問あります(60 分)。問題に応じた内容であり論旨のとった文章であることが求められます。
 - ③ 記号選択式問題、論述式問題の双方において基準に達することで合格となります。
- (4) 受験料と認定料について
 - ① 受験料は 4,000 円です。ただし、次に示す受験資格がないと判断された場合は、受験料は返却します。(再受験の場合、受験料は 3,000 円です)
 - ② 希望者には、宗教文化士認定試験の過去問から作成された問題集をお送りします。問題集を希望する場合、受験料に問題集の送料 500 円を加えた 4,500 円をお振り込みください。
※初学者向けの問題集として『解きながら学ぶ日本と世界の宗教文化』(集広舎、2019 年、1500 円税別)も出版されています。こちらの購入を希望される方は書店でお求めください。
 - ③ 認定試験に合格した場合の認定料は 6,000 円です。

【受験資格】

受験資格は下表のとおりです。

大学生	大学 2 年生(後期)~卒業 2 年以内	到達目標と対応する科目の単位を 16 単位取得していることが必要です。すでに 12 単位取得していれば、残りの単位を履修中の人も受験できます。大学院生は、学部で取得した単位を含めることができます。
大学院生	在籍中~修了・退学 2 年以内	
教員	現職の小学校・中学校・高等学校の教員	関連分野(社会科関連、宗教科など)で 3 年以上の教育歴が必要です。
	現職の大学・短大・高専の教員	関連分野での 3 年以上の教育歴が必要です。
報道関係者	現職の報道関係者 (新聞社、テレビ・ラジオ局)	3 年以上の記者経験が必要です。宗教に関係があると思われるこれまでの取材経験を数件以内で簡単に記してください。

※科目等履修生や、国外の大学で取得した単位などについては、別途審査します。メールでお問い合わせください。

※教員・報道関係者で受験資格について確認したい場合はセンターにメールでお問い合わせください。

【申請および認定の手続き】

- (1) 第16回認定試験の受験申請書受付期間は、2019年5月1日(水)～5月31日(金)(当日消印有効)です。
- (2) 申請者は、下記の3点を期日までに提出します。
 - ① 「受験申請書」
 - ② 「受験料の振り込みを確認できる書類のコピー」
下記指定口座に受験料 4,000 円(問題集希望者は 4,500 円、再受験者は 3,000 円)をお振り込みください。
 - ③ 学生・院生は「到達目標と対応する科目の単位の取得を証明する書類」(成績証明書、単位取得証明書等)。
教員・報道関係者は「在職証明書」。大学教員の場合、在職証明は担当科目の「シラバス」で代替可能。
※なお、再受験の学生・院生で、前回受験時に単位を充足している場合は③の書類は必要ありません。

【受験料振込先】
三菱 UFJ 銀行 渋谷支店(135) 口座番号(普通)0319144 宗教文化教育推進センター(シユウキヨウブンカキヨウイクスイシンセンター)
みずほ銀行 渋谷支店(210) 口座番号(普通)1377159 宗教文化教育推進センター(シユウキヨウブンカキヨウイクスイシンセンター)

- (3) 受験資格があると認められた人には受験票が送付されます
(6月10日までに届かない場合は、お問い合わせください)。
- (4) 当日は受験票を持参し、受験者が選択した会場で受験します。
- (5) 第16回認定試験の合否通知の発送は、7月中旬を予定しています。

申請書提出先および問い合わせ先⇒
(切り取って提出用封筒にお使いください)
E-mail: info@cerc.jp

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28
國學院大學 AMC 5F
宗教文化教育推進センター